# 1 学校給食の概要

学校給食の概要は次のとおりです。

# 学校給食実施状況調査結果(平成25年5月1日現在)

# 1 給食形態別実施状況

県内の公立学校で学校給食を受けている児童・生徒数は約18万人であり、平成24年度に比べて1.3%の減です。

区	分	児童・生徒数(人)	完全給食(人)	補食給食(人)	ミルク給食(人)
小	学 校	116, 343 (118, 231)	116, 211 (118, 108)		
中	学 校	60, 642 (61, 330)	60, 415 (61, 179)		156 (79)
小	#	176, 985 (179, 561)	176, 626 (179, 287)		
特別支	接学校	2, 514 (2, 371)	2, 113 (2, 100)		8 (10)
夜間定時制高等学校		1, 088 (1, 121)	678 ( 745)	128 (145)	
計		180, 587 (183, 053)	179, 417 (182, 132)	128 (145)	164 (89)

<sup>( )</sup>内は、平成24年度(平成24年5月1日現在)の数値です。(平成24年度の数値は、以下すべての表に共通します。)

#### 2 調理方式別実施状況

公立小・中学校における調理方式別実施状況は、学校数の比率でみると、単独校 調理場方式が34.9%、共同調理場方式が65.1%となっています。

区分	単独校調	理場方式	共同調理場方式		
区 分	学校数(校)	比 率 (%)	学校数(校)	比 率 (%)	
平成25年度	194	34. 9	362	65. 1	
(参考)平成24年度	200	35. 7	360	64. 3	

#### 3 米飯給食実施状況

完全給食を実施している公立小・中学校においては、すべての 児童・生徒が米飯給食を受けています。

また、週当たりの平均実施回数は3.35回です。

	丞 分	平成25年度	(参考)平成24年度
実	学 校 数	100.0%	100.0%
施率	児童・生徒数	100.0%	100.0%
週当たり 平均実施回数		3.35回	3.34回

# 4 学校給食費

保護者が負担する学校給食費 (パン、米飯、牛乳、副食等の食材料費等)の平均月額は、平成24年度に比べ小学校で約0.2%、中学校で0.1%の減額、夜間定時制高等学校で1.7%の減額となっています。

区	分	平成25年度			(参考) 平成24年度	
		給食回数	給食費月額	対前年度増減率	給食回数	給食費月額
小学校	低学年 中学年 高学年	204回 204回 204回	4,798円 4,862円 4,924円	△0.2% △0.1% △0.1%	204回 204回 204回	4,806円 4,868円 4,928円
中	学 校	202回	5,605円	△0.1%	200回	5,610円
夜間定時制高等学校		179回	4,864円	△1.7%	180回	4,948円

#### 5 栄養教諭・学校栄養職員配置状況

公立小・中学校(共同調理場含む)、特別支援学校、教育委員会の栄養教諭・学校栄養職員常勤数は300人で、前年より7人増となっています。

なお、栄養教諭は61人で、2名減となっています。

	栄養教諭 (常勤)	学校学	#L		
分		公立小中	特別支援	教育委員会	計
平成 25 年 度	61人	220人	12人	7人	300人
(参考)平成24年度	63人	212人	12人	6人	293人

#### 6 学校給食調理員配置状況

公立小・中学校(共同調理場含む)の学校給食調理員数(派遣職員含む)は、1,755人であり、平成24年度に比べ15人の増となっています。また、学校給食調理員のうち、非常勤職員の比率は37.9%となっており、平成24年度に比べ2.1ポイントの増となっています。

区分	常	常勤非常勤		常勤	計	
区 分	職員数	比率	職員数	比率	ਜ਼∓T 	
平成 25 年度	1,090人	62.1%	665人	37.9%	1,755人(350人)	
(参考)平成24年度	1,117人	64.2%	623人	35.8%	1,740人(346人)	

( ) 内は派遣職員数で内書きです。

# 7 学校給食用食器の使用状況

公立小・中学校の使用食器を材質別に見ると、ポリエチレンナフタレートが約51%と一番多く、次いでポリプロピレン、強化磁器となっています。 (重複回答あり)

区 分	ポリプロピ レン	ホ <sup>°</sup> リエチレンナフタ レート	強化磁器	メラミン	ポリカーポ ネート
平成25年度	265校 (47.7%)	286校 (51. 4%)	84校 (15. 1%)	38校(6.8%)	26校(4.7%)
(参考)平成24年度	278校 (49. 6%)	279校 (49. 8%)	81校 (14.5%)	48校 (8.6%)	28校 (5.0%)
区分	シクロオレフィン ホ゜リマー	ステンレス	アルマイト	耐熱ABS 樹脂	漆 器
平成25年度	24校 (4. 3%)	0校(0.0%)	4校 (0.7%)	30校 (5. 4%)	2校 (0.4%)
(参考)平成24年度	13校 (2. 3%)	5校 (0.8%)	6校 (1.0%)	28校 (5. 0%)	2校 (0.4%)